

arcserve®
assured recovery™

Arcserve Backup 間違いやすいライセンス

> Arcserve Backup 間違いやすいライセンス – 目次

- Client Agentが必須になるパターン
- Disaster Recovery Option
- Tape Library Option
- 仮想環境でのライセンス

この資料は、Arcserve Backup 利用時の間違いやすいライセンスについて記載しています。
一般的なライセンスについては、カタログセンターに掲載されているライセンスガイドをご確認ください。

【カタログセンター】

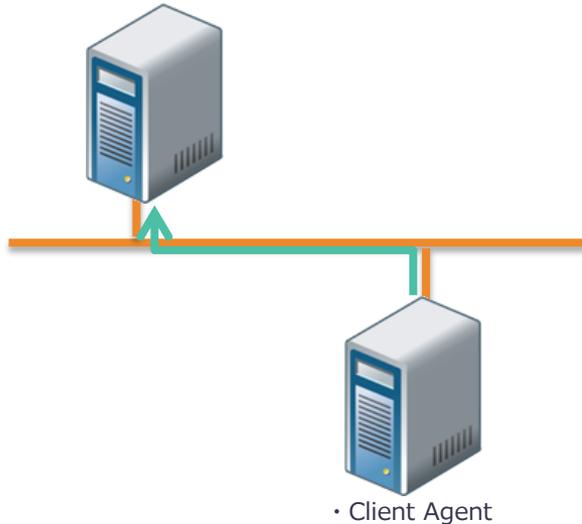
<https://www.arcserve.com/jp/jp-resources/catalog-center/>

> Client Agent が必須になるのは、どんな時ですか？

以下の構成の場合、Client Agent が必須です ①

リモートサーバをバックアップ

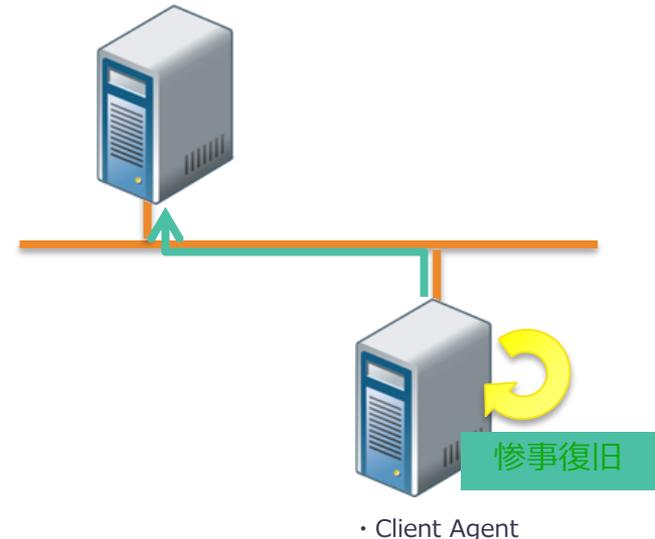
・ Arcserve Backup



* ネットワーク経由でリモートのサーバをバックアップする場合、Client Agentが必要です。

リモートサーバの惨事復旧

・ Arcserve Backup
・ Disaster Recovery Option



* Disaster Recovery Optionの機能を利用するには、Client Agentが必要です。

* ネットワーク経由でリモートのサーバをバックアップする場合、Client Agentを利用して、サーバのOSを含めたバックアップが実施される必要があります。

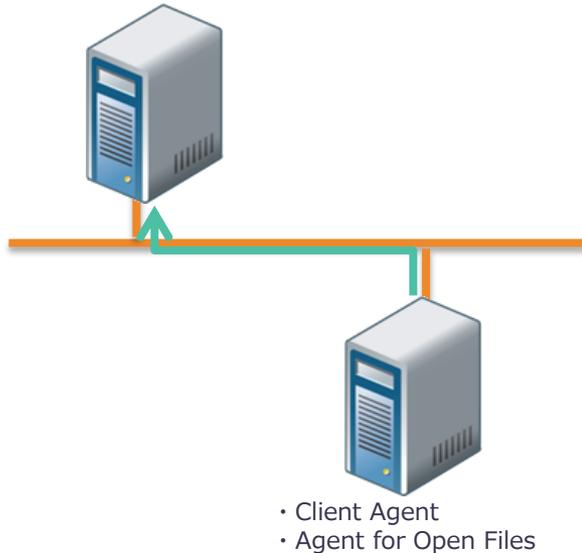
* 上記の構成では、バックアップサーバ自身の惨事復旧も可能です。

> Client Agent が必須になるのは、どんな時ですか？

以下の構成の場合、Client Agent が必須です ②

Agent for Open Files 利用

・ Arcserve Backup



・ Client Agent
・ Agent for Open Files

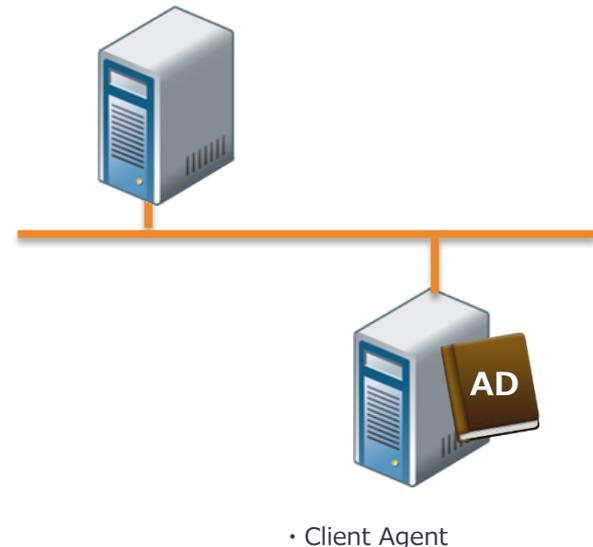
* Agent for Open Filesを利用する前提として、Client Agentが必要です。

Agent for Open Filesでは、以下のことが可能です。

- ・ オープン中のファイルをバックアップ
- ・ 合成フルバックアップ
- ・ Volume Shadow Copy Serviceを利用したバックアップ

Active Directoryの詳細リストア

・ Arcserve Backup



・ Client Agent

*Active Directoryのオブジェクト レベル リストア、Authoritative リストアを実施するには、Client Agentによるシステム状態のバックアップが必要です。詳細は以下のサイトを参照してください。

<https://www.arcserve.com/jp/wp-content/uploads/2017/02/asbu-d2d-r16-active-directory-recovery.pdf>



Disaster Recovery Option (DRO) のライセンスはサーバ台数分必要ですか？

いいえ。本体製品分のライセンス数のみ必要です。

- Arcserve Backup
- Disaster Recovery Option

DROは
1ライセンス



- Client Agent
- Agent for Open Files*



- Client Agent
- Agent for Open Files*



- Client Agent
- Agent for Open Files*



- Client Agent
- Agent for Open Files*



- Client Agent
- Agent for Open Files*

メモ

- 上記の構成では、Disaster Recovery Option は1ライセンス必要です。
- バックアップサーバ台数分のDisaster Recovery Optionで、それに紐づく業務サーバをすべて惨事復旧可能です。
- 惨事復旧するサーバは、Client Agent 経由でバックアップをされている必要があります。
- Agent for Open Files を使用することで、ユーザが使用中のファイルをバックアップすることができます。

> Tape Library Option (TLO) はどのパターンで必要ですか？

2ドライブ以上のテープライブラリ使用時に必要です

シングルテープ装置

TLO不要

・ Arcserve Backup



*シングルテープ装置を利用する場合、TLOは不要です。

2ドライブ搭載 テープライブラリ

TLO必要

・ Arcserve Backup



*2ドライブ以上搭載のテープ装置を利用する場合、TLOが必要です。

1ドライブ搭載 テープライブラリ/ オートローダ

TLO不要

・ Arcserve Backup



*シングルテープ装置を利用する場合、TLOは不要です。

2ドライブ搭載 テープライブラリ

TLO必要

・ Arcserve Backup



*2ドライブ以上搭載のテープ装置を2つ接続している場合、TLOのライセンスは**1つ**必要です。

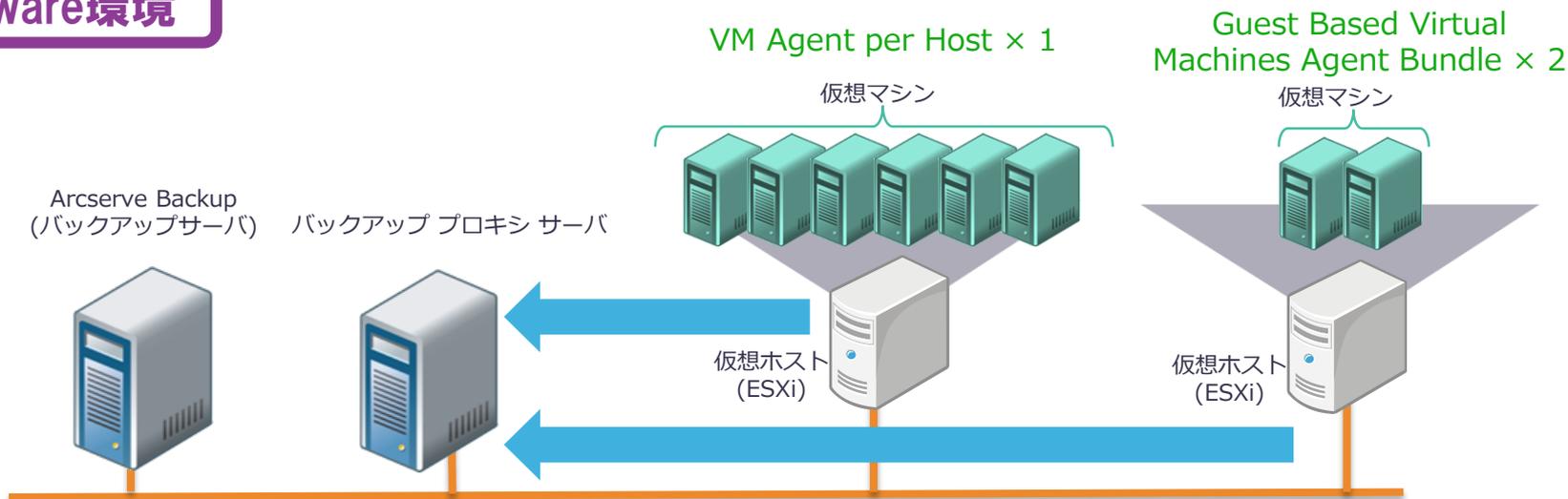
メモ

VTL (Virtual Tape Library) 利用時も考え方は同様です

> 既にプロキシサーバがある環境で、Guest Based Virtual Machines Agent Bundleを購入。追加のプロキシサーバ用のライセンスは必要ですか？

いいえ、既にあるプロキシサーバを利用する場合、追加のライセンス購入は**不要**です

VMware環境



メモ

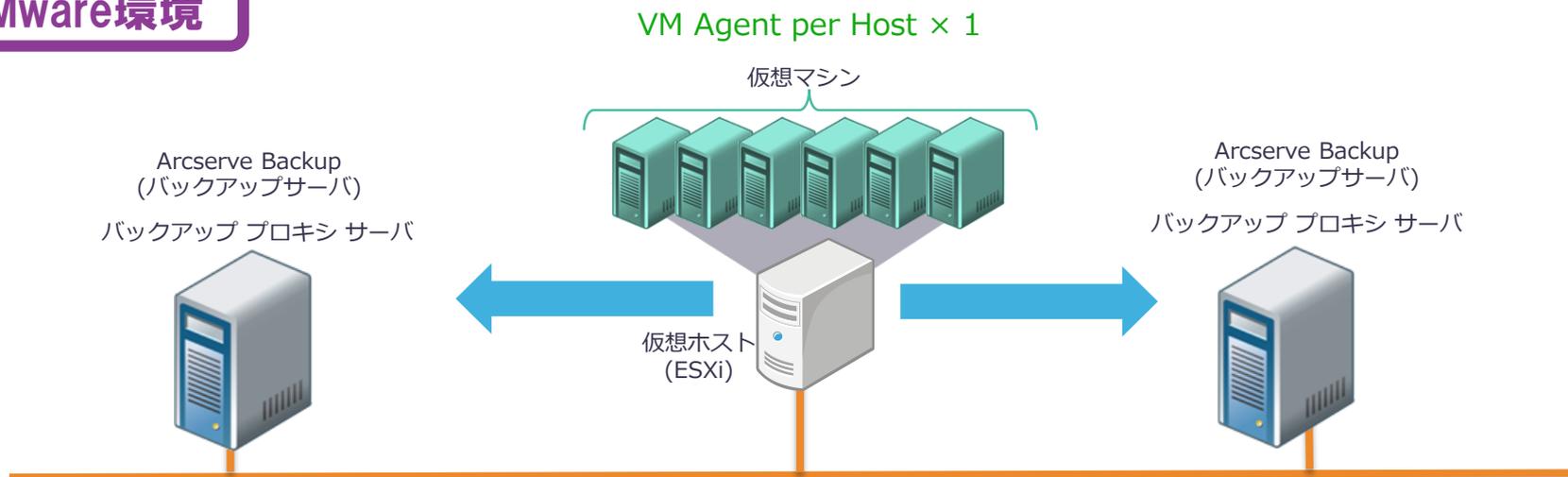
複数のホスト上の仮想マシンを1台のプロキシサーバ経由でバックアップする際にプロキシサーバ用ライセンスを1つで共有利用することができます。
例えば、Per Hostでライセンスされたホストとプロキシがある場合既にライセンスされたプロキシがあるので、他のホストからバックアップでは追加のプロキシライセンスは不要です。
Guest Basedでライセンスされたホストとプロキシがある場合にも、追加のVM Agentは不要です。

※文中のGuest Based は、Guest Based Virtual Machines Agent Bundleを示します。
※文中のper Hostは、VM Agent per Hostを示します。

> 複数のバックアップサーバから同じESXi上の仮想マシンをバックアップする場合、バックアップサーバごとにライセンスが必要ですか？

いいえ、per-Hostライセンスをお持ちであれば、バックアップサーバごとにVM Agentのライセンス購入は**不要**です

VMware環境



バックアップデータの冗長化のために、複数台のArcserve Backupサーバから仮想マシンをバックアップする際、VM Agent per Host を追加で購入いただく必要はありません。上記の図では、per Host が1つ必要です。

メモ

補足：

per Hostのライセンスはバックアップサーバの数に関係なく、ホスト数分必要です。例えば上記の図でESXiサーバが2台ある場合は、per Hostが2つ必要です。

Guest Based Virtual Machines Agent Bundleを利用する場合は、バックアップする仮想ゲスト台数+プロキシサーバ分のライセンスがバックアップサーバごとに必要です。（上記の図ではGuest Basedが14必要です）

※文中のGuest Based は、Guest Based Virtual Machines Agent Bundleを示します。

※文中のper Hostは、VM Agent per Hostを示します。

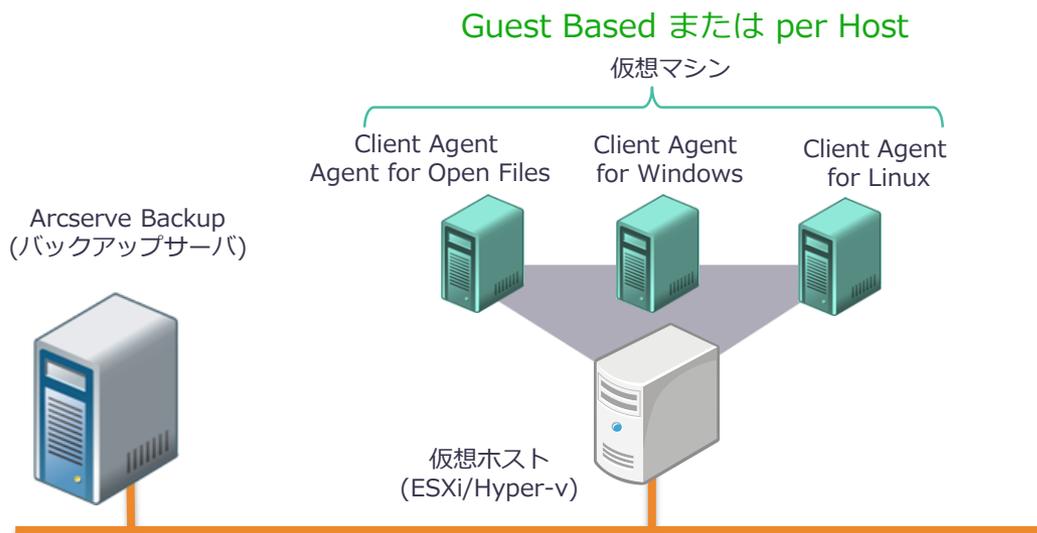
※この図ではバックアップサーバとプロキシサーバを1台にしていますが、分割することも可能です。

> ファイルサーバ利用の仮想マシンを、物理サーバと同様にバックアップする場合、物理用Client Agentライセンスを利用できますか？

いいえ、仮想用Guest Based または per Hostのライセンスが必要です

VMware環境

Hyper-V環境



メモ

仮想マシンにClient Agent for Windows、Agent for Open Files、Client Agent for Linuxをインストールして利用する場合、Guest Based またはper Hostにより、利用可能です。別途、これらの製品を購入する必要はありません。

物理サーバで利用していたライセンスを仮想環境に移行することはできません。
仮想ゲストにデータベースなどがインストールされている場合は、別途専用のAgent製品の購入が必要です。

※文中のGuest Based は、Guest Based Virtual Machines Agent Bundleを示します。

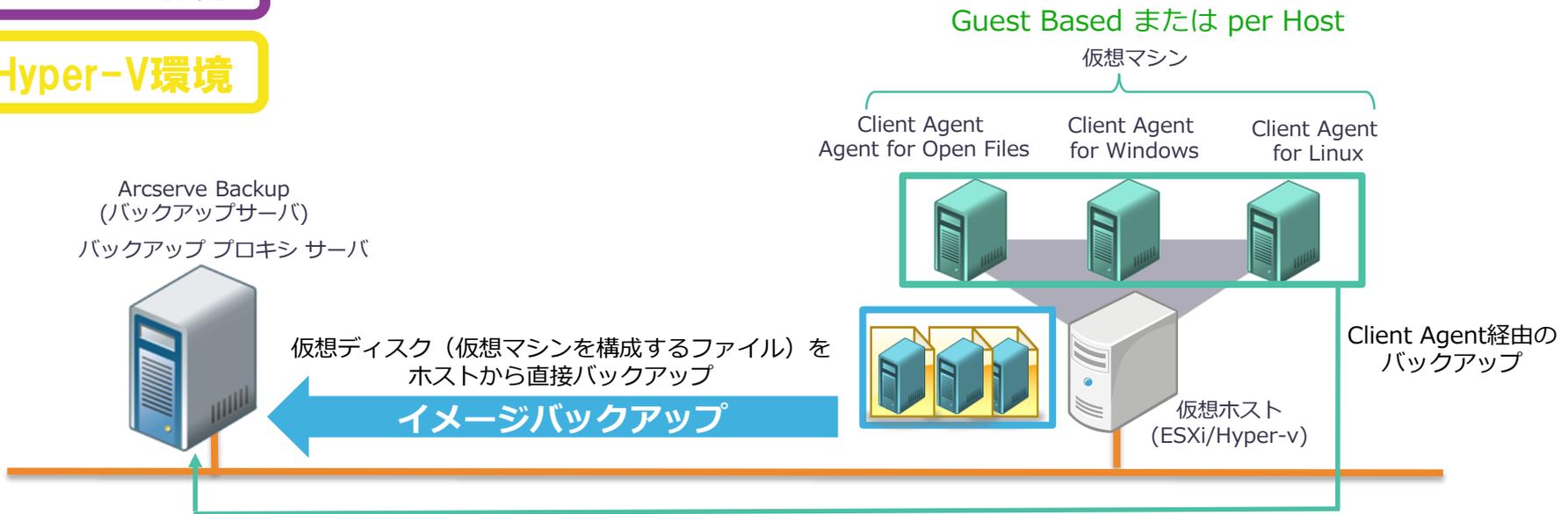
※文中のper Hostは、VM Agent per Hostを示します。

> 仮想マシンのイメージバックアップと、物理サーバと同様のバックアップを行う場合、ライセンスは二重に必要ですか？

いいえ、Guest Based または per Hostがあれば追加のライセンス購入は**不要**です

VMware環境

Hyper-V環境



メモ

仮想ゲストにClient Agent for Windows、Agent for Open Files、Client Agent for Linuxをインストールしての利用と、仮想のイメージをバックアップ(rawバックアップ)は併用できます。その際、追加のライセンス購入は不要です。

※文中のGuest Based は、Guest Based Virtual Machines Agent Bundleを示します。
※文中のper Hostは、VM Agent per Hostを示します。